

第1回 全国500歳野球大会開催!

野球に燃える

親父たちの
甲子園

平成29年7月15日(土)
~7月17日(月)

秋田県 **大仙市**
で開催!

【お問い合わせ】

大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課内
「全国500歳野球大会プロジェクトチーム」事務局
〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2-16
TEL 0187-63-1111 FAX 0187-63-7131

第1回 全国500歳野球大会 開催構想

【大会概要】

大会名	第1回 全国500歳野球大会
主催	秋田魁新報社・秋田県大仙市（全国500歳野球大会実行委員会）
主管	大仙市野球連盟（予定）
後援	秋田県野球協会・秋田県軟式野球連盟・大仙市教育委員会・大仙市体育協会 他（予定）
会場	総合公園大曲球場・大仙市宮神岡野球場 他
出場チーム	各都道府県推薦及び特別枠（大仙市交流都市枠「神奈川県座間市・岩手県宮古市・宮崎県宮崎市」と大仙市枠「大仙市内から1～2チーム」）として20チームと秋田県代表2チーム（前年度全県500歳野球大会優勝・準優勝チーム）の計22チーム程度を予定
大会日程	平成29年7月15日(土)～17日(月) (大会前日)公式練習・前夜祭レセプション (大会第1日目)開会式・1～2回戦 8試合 (大会第2日目)2回戦・準々決勝10試合及び1回戦敗退チームによる交流戦 (大会第3日目)準決勝・決勝3試合及び2回戦敗退チームによる交流戦
試合方法	トーナメント方式で行い、初戦敗退したチーム同士の交流戦(大会2日目から3日目の会期中)を行う。

【秋田県500歳野球の歴史】

500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合です。当時、県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まって、熱戦を繰り広げました。翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、更に7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。これら二度の紅白試合と郡市大会を行い、自信

をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声が上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。

この時、わずか8チームの出場で産声を上げた「全県500歳野球大会」が、今では180チーム以上、選手4,500人超が参加する大会に育ちました。

更には秋田で生まれた500歳野球が約600km離れた京都府でも毎年開催されるようになり、現在、府内全域から20数チームが集い「生涯現役」の夢を追っています。

【500歳野球の魅力】

軟式野球の全国大会は一般の選手権大会から退くと、40歳以上を対象とした「マスターズ野球大会」、60歳以上を対象とした「還暦野球大会」等があります。

現在、現役選手でプレーするには、50歳代を主力とした大会が全国的に少ない状況にありますが500歳野球は50歳代を主力としながらも9人の合計年齢が500歳以上という特別ルールから、それぞれの戦略に合わせて50～80歳代まで幅広い年齢層でチーム編成されております。

マスターズや還暦野球は、〇〇歳以上という年齢制限しかないため、その年齢に達して出場しても次の年代が補強されると選手生命が短くなります。

これに比べ、500歳野球は健康で体が動く限り、「生涯現役」を貫くことができますので、まさに夢見る「親父たちの甲子園」となり得ます。

更に、一度ゲームを退いても同ゲーム内で何度でも再出場可能という、他の野球大会では類のないルールが中高齢者には最大の魅力であると思われま

秋田県500歳野球大会 特別ルール

【球場規格】	本塁→両翼 7.5m 本塁→中堅 8.5m 投手→本塁 1.6m 塁間 2.3m
【出場資格】	原則50歳以上 (基準日においては49歳の場合もあり得る) 出場選手9人の合計年齢が500歳以上であること
【登録者数】	監督等を含め30名以内
【背番号】	規定無し
【使用球】	A号
スパイク	ポイントスパイクを着用 ※金属製金具使用不可 ※ブック靴使用可
【投手の年齢制限】	55歳までの投手はアウト9まで。 56歳以上の投手は制限なし。 ただし、延長戦・特別ルールの際には制限を適用しない
試合のイニング数	5回戦 ※全国大会については検討中
コールドゲーム	なし
延長戦 ※秋田県大会適用規定	①大会2日目まで 試合開始後1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。それでも同点の場合は出場選手9人によるジャンケンで勝敗を決する。 ②大会3日目以降 同点の場合、7回まで延長戦を行い、それでも同点の場合は「特別延長戦」を行う